

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)鳥取南吉方ホテル計画 新築工事	階数	地上8F
建設地	鳥取県鳥取市南吉方1丁目63-8	構造	S造
用途地域	準工業地域、22条区域、特別用途地区	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年8月 予定	評価の実施日	2026年5月22日
敷地面積	1,784 m ²	作成者	河野設計福岡 大坪貴大
建築面積	480 m ²	確認日	2026年5月22日
延床面積	3,480 m ²	確認者	河野設計福岡 手島正美



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	道路沿いに植栽を設けるとともに、外壁を落ち着いた色合いとすることで周辺地域と調和するように配慮した。	その他 0
Q1 室内環境	ホテル用途のため、客室の開口部にはT-2の遮音性能を持つアルミサッシを採用した。	Q3 室外環境 (敷地内) 建物や駐車場以外の部分になるべく植栽を配置し、周辺環境に配慮した。
LR1 エネルギー	建物外皮の熱負荷低減に配慮した。	LR3 敷地外環境 利用者の利便性に配慮し、敷地内に駐車場を計画した。
Q2 サービス性能	車いす使用者でも快適に宿泊出来る様にユニバーサルルームを計画するとともに、共用部についてもバリアフリーに対応したホテルとした。	
LR2 資源・マテリアル	節水型の衛生機器を採用し、水資源の使用量削減に配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される